

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：5年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男女ともに、握力や反復横とび等大きな力を出す能力やすばやく動作を繰り返す運動が優れている。
- 男女とも、50m走等すばやく移動する能力であるスピードに課題がある。

2 取組についての評価

(1) 体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・児童一人ひとりが目標に応じて、選択して取り組むことができる個別最適な場や活動の設定。
- ・友だちとの学び合いを通して、動きのポイントやタイミング、技のこつ等を確認することができる活動の設定。

②改善を図る点

- ・ICTを活用し、撮影した動きをもとに児童自身が試行錯誤しながら学ぶ活動の設定。
- ・児童一人ひとりが設定した目標（めあて）に応じた、児童がより主体性をもって活動に取り組むことができる場の設定。

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・めあてと振り返りがある学習、学び合い活動の設定、運動量の確保、課題に応じた場の工夫など、子どもの主体性を育む体育科学習のさらなる充実。
- ・学校全体で運動を伴う活動や記録会（チャレンジなわとびやドッジボールラリーなど）を定期的に設定し、児童一人ひとりが運動に対して楽しむことを実感することができる取組を行う。